

子どもがスマートフォンのゲームで高額利用！？

事例 子どもに時々私のスマートフォンを持たせゲームをさせていた。数か月前に子どもが「有料のアイテムがないと先に進めない、面白くないのでアイテムを買って欲しい」と言い出した。アイテムの金額は少額だったので、クレジットカード番号を入力して買った。しばらくして請求書が届くと、15万円分のアイテムを購入したことになっている。こんな高額な請求がくるのはおかしい。

この事例のほかに、アイテムを購入しゲームを続けたい子どもが、親の財布から勝手にクレジットカードを抜き出し利用したケースや、小さい子どもにスマートフォンを触らせていたら、知らない間に有料サイトを利用していたといったケースの相談も寄せられています。



スマートフォンにクレジットカード番号を記憶させると、次回から番号を入力することなく利用できます。パスワードを誕生日などにしている場合は、**子どもが番号を推測して利用**したり、親が入力する**番号を覚えていて利用**したりすることがあります。また、**パスワード入力後、一定時間内ならパスワードを再入力することなく、利用できる場合もあります**。クレジット決済だけでなく、携帯電話料金と合算で請求される場合もあります。

- 子どもにスマートフォンを与える前に、使い方のルールを決めましょう。子どもがどのように使用しているか、親の見守りが必要です。
- ゲームをさせる場合、年齢設定や利用限度額の制限をかけましょう。
- スマートフォンにクレジットカード情報やパスワード情報を記憶させないようにしましょう。
- パスワードを定期的に変更し、クレジットカード自体もしっかりと管理しましょう。